

一般社団法人 日本家政学会関東支部
2024年度 通常総会議案書

(一社)日本家政学会関東支部

一般社団法人日本家政学会関東支部 2024 年度通常総会次第

日 時： 2024 年 4 月 20 日（土）13 時 00 分～13 時 45 分

会 場： お茶の水女子大学および zoom

1. 開 会

2. 支部長挨拶

3. 議長選出

4. 議 事

第一号議案 2023 年度事業報告の件

第二号議案 2023 年度収支決算報告の件

第三号議案 2023 年度監査報告の件

第四号議案 2024・2025 年度年度役員選出の件

第五号議案 2024 年度事業計画案の件

第六号議案 2024 年度収支予算案の件

5. 議長解任

6. 閉 会

【第一号議案】2023年度事業報告の件

1. 総務関係

(1) 会員の状況 (2024年3月31日現在)

正会員 907名 (永年会員47名を含む)
学生会員 60名
計 967名

(2) 総会 (規約第12条(1))

2.1) 通常総会

2023年4月22日(土) 13:00~13:30 オンライン開催
2022年度事業報告及び収支決算
2023年度事業計画及び予算案の承認など

2.2) 臨時総会

2023年11月4日(土) 10:00~10:30 オンライン開催
次期支部選出役員等の選挙結果など

(3) 役員会開催 (規約第12条(4))

3.1) 第1回 2023年4月18日(金) オンライン開催

出席(27名): 支部長、副支部長2、幹事22、監事1、オブザーバー1

3.2) 第2回 2023年4月29日(土)~5月8日(月) メール会議

出席(29名): 支部長、副支部長2、幹事23、監事2、オブザーバー1

3.3) 第3回 2023年7月4日(火)~7月9日(日) メール会議

出席(29名): 支部長、副支部長2、幹事23、監事2、オブザーバー1

3.4) 第4回 2023年7月25日(火)~7月30日(日) メール会議

出席(29名): 支部長、副支部長2、幹事23、監事2、オブザーバー1

3.5) 第5回 2023年9月1日(金)~9月7日(木) メール会議

出席(29名): 支部長、副支部長2、幹事23、監事2、オブザーバー1

3.6) 第6回 2023年11月4日(土) オンライン開催

出席(26名): 支部長、副支部長2、幹事21、監事2、

3.7) 第7回 2024年2月11日(金)~2月15日(木) メール会議

出席(29名): 支部長、副支部長2、幹事23、監事2、オブザーバー1

(4) 学会賞の推薦

功労賞候補、学会賞候補、奨励賞候補として支部会員を各1名推薦した。

2. 財務関係

2023年度も若手の会を組織内に位置付けて、決算に組み入れた決算案とした。

講習会（C企画）および卒論・修論の研究発表会（E企画）はハイブリット形式で、見学会（D企画）は対面形式で実施された。そのうち、卒論・修論の研究発表会については、本部の支部活動活性化サポートの活動助成金が承認され、実施後の申請額全額が支給された。また選挙に対する助成金が支部費に上乗せされて交付された。当期分の支出は本部交付金と活動助成金の範囲内であり、予算支出合計額を下回った。講習会での事業収入は無く、役員会はオンラインで開催したため、会議費や交通費が発生しなかったことから支出が減り、繰越金が増加した。

3. 企画関係

（1）研究発表会（規約第4条（1））

- 1.1) 第26回家政学関連卒業論文・修士論文発表会
日時：2024年2月15日（木） 13:00～16:10
会場：日本女子大学 オンライン（Zoom）開催
演題数：18件（卒論 11件、修論 7件）
参加者：64名（学会員 29名、非学会員 35名）

（2）講習会（規約第4条（2））

- 2.1) 教育講演会
日時：2023年4月22日（土）14:00～15:30
会場：オンライン（Zoom）
講師：名越斉子氏（埼玉大学教育学部教授）
「発達障害のある学生の理解と支援」
参加者：67名（参加申込み 100名）

（3）講演・講習会（規約第4条（2））

- 3.1) 見学・体験会&講演会
日時：2023年8月5日（土）13:30～15:00
会場：文化学園大学・文化学園服飾博物館
内容：文化学園服飾博物館「日本服飾の美」見学・金井光代氏による展示解説講演
参加者 26名（うち、学生含む非会員 7名）

4. 広報関係

（1）関東支部ホームページの管理

支部HPの更新は毎月2回（5日と20日）に本部一括で行われている。関東支部の活動内容のHP掲載は、2023年度はイベント案内4回（見学会・講演会2件、卒論・修論発表会1件、通常総会・教育講演会1件）、イベントアルバム2回（見学会・講演会2件）、議事録1回、議案書1回を依頼した。

(2) 関東支部メールニュースの配信

HP 管理と同様に、家政学会本部よりメールアドレスを登録している会員に対し配信を行っている。配信は講演・講習会、卒論・修論発表会等の企画について 8 回程度依頼した。

(3) その他の活動

講演・講習会、家政学関連卒論・修論発表会、統計講習会等の企画については、HP による案内だけでなく、学会誌への告知ならびに、学会員全体へのメルマガ配信などにより、関連部署へ広く広報活動を行った。

5. 若手の会の活動

(1) 会員の状況 (2024 年 2 月現在)

正会員 74 名
学生会員 0 名
計 74 名

(2) 幹事会開催

第 1 回	2023 年 6 月 5 日 (月)	オンライン (Zoom)	出席：幹事	計 11 名
第 2 回	2023 年 8 月 4 日 (金)	オンライン (Zoom)	出席：幹事	計 8 名
第 3 回	2023 年 9 月 11 日 (金)	対面	出席：幹事	計 9 名
第 4 回	2023 年 12 月 26 日 (火)	オンライン (Zoom)	出席：幹事	計 9 名
第 5 回	2024 年 2 月 27 日 (火)	対面	出席：幹事	計 8 名
第 6 回	2024 年 3 月 22 日 (木)	オンライン (Zoom)	出席：幹事	計 8 名

(3) 企画関係 (規約第 4 条 (2))

2023 年度 関東支部・若手の会秋季企画 オンライン講演会&茶話会

「災害時に活かせる家政学 住居編 家政学の視点から防災対応・迅速復旧型の市民をつくる～避難所、仮設住宅を中心に～」

日時：2023 年 10 月 7 日 (土) 10:00～11:35

会場：オンライン (Zoom)

講演会講師：平田 京子氏 (日本女子大学)

参加者：44 名 (学会員 38 名、非学会員 6 名) (茶話会の参加者 25 名)

(4) 広報関係

4.1) 関東支部若手の会ホームページの管理

2016 年 11 月から本部の一括管理となった若手の会ホームページは、2023 年度も引き続き本部で管理・更新が行われた。幹事情報の更新、企画の案内、活動報告の掲載を依頼し、掲載状況を確認した。

4.2) 情報発信・共有

秋季研修会に関し、学会誌、関東支部ならびに若手の会ホームページに企画の

案内を掲載した。企画案内メールを、家政学会全体のメルマガ、関東支部のメルマガ、ならびに若手の会メンバーに対し送付した。

4.3) その他の活動

秋季研修会の案内、活動報告について関東支部に依頼し、リンクを支部ホームページに掲載した。

【第二号議案】 2023 年度収支決算報告の件

2023年度 関東支部 収支決算

収入の部

	予算	決算	差異	備考
本部交付金	735,000	729,996	-5,004	交付金：583,000円、選挙費：146,996円
本部活動助成金	56,000	39,658	-16,342	E企画：39,658円
事業収入	20,000	0	-20,000	
利息	10	21	11	
当期収入合計(a)	811,010	769,675	-41,335	
前期繰越収支差額	2,434,088	2,434,088	0	
収支合計(b)	3,245,098	3,203,763	-41,335	

支出の部

	予算	決算	差異	備考
1. 管理費				
会議費	30,000	1,387	-28,613	
旅費交通費	60,000	17,210	-42,790	
通信・運搬費	30,000	370	-29,630	
消耗品費	30,000	287	-29,713	
人件費	20,000	0	-20,000	
印刷費	20,000	0	-20,000	
支払請求金	3,000	3,253	253	
小計	193,000	22,507	-170,493	
2. 事業費				
総会費	90,000	0	-90,000	
見学・講習会	350,000	159,215	-190,785	
研究発表会	240,000	53,154	-186,846	
研究発表要旨集関連運営費	40,000	0	-40,000	
選挙費	230,000	226,386	-3,614	
小計	950,000	438,755	-511,245	
3. その他			0	
予備費	10,000	0	-10,000	
小計	10,000	0	-10,000	

当期支出合計(c)	1,153,000	461,262		
当期収支差額(a)-(c)	-341,990	308,413		
次期繰越収支差額(b)-(c)	2,092,098	2,742,501		

現金預金の期末残高内訳

	2023年度
手元現金	8,349
若手の会繰越金	230,220
銀行預金（普通預金）	2,503,932
銀行預金（定期預金）	0
合計	2,742,501

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、2023年度の計算書類が正しく示されているものと認めます

2024年 4月 5日

監事

森 理恵

監事

柳澤 幸江

ウェブサイト掲載用に署名部分加工

2023年度 関東支部預金収支決算				
一般		単位：円		
	費目名	収支金額	支出金額	備考
収入	繰入金	2,190,530		
	学会本部より	769,654		
	事業収入	0		
	利息	21		
	寄付金	0		
	収入合計	2,960,205		
支出	引出		30,000	
	事業		423,983	
	手数料		2,290	
	支出合計		456,273	
収支差額(次期繰越額)				2,503,932
定期預金		*平成23年10月18日に解約し普通預金に振込		
	費目名	収入金額	支出金額	備考
収入	繰入金	—		
	利息	—		
	収入合計	—		
支出	支出合計		—	
収支差額(次期繰越額)				—

貸借対照表 (②関東支部)			
(2024年3月31日現在)			
			(単位:円)
科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
手許現金	8,349	6,737	1,612
普通預金(みずほ銀行)	2,503,932	2,190,530	313,402
通常貯金(ゆうちょ銀行)			
関東支部若手の会	230,220	236,821	▲ 6,601
流動資産合計	2,742,501	2,434,088	308,413
2. 固定資産			
支部大会基金引当預金			
定期預金			
通常貯金(ゆうちょ銀行)			
固定資産合計	0	0	0
資産合計	2,742,501	2,434,088	308,413
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金			
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	2,742,501	2,434,088	308,413
負債及び正味財産合計	2,742,501	2,434,088	308,413

【第三号議案】2023年度監査報告の件

一般社団法人日本家政学会関東支部規約に基づき、支部事業および支部会計の監査を実施した。支部監事は役員会に陪席し、審議経過を傍聴するとともに、支部事業に参加し、その実行状況を観察し、会計幹事から決算に関する報告及び説明を受けた。以下は、監査報告である。

1. 総務関係

支部に所属する会員数は、2024年3月31日現在で967名（正会員907名、学生会員60名）であり、2023年度末（2023年3月末）の会員数より16名減少した。1年前は7名の増加、その前が29名の減少であったことから、会員数はやや減少傾向である。学生会員の正会員への移行も期待したい。

役員会の出席状況は、オンライン開催により良好であり、適正かつ効率的な運営に努めていたと判断する。また、学会賞候補者の推薦など本部との連携も行われている。

2. 財務関係

決算報告書は、予算の区分に従い、決算の状況を正しく示している。

2023年度は、当期収支差額が約31万円の黒字であり、前年度（黒字約37万円）に続き黒字となった。これは、新型コロナウイルス感染以降、見学・講習会や研究発表会の支出が大きく減ったことが主な理由である。今後はコロナ禍前の事業体制に戻って行くことを期待し、収支バランスを保って頂きたい。

尚、コロナ禍でこの3年間黒字額が激増し、次期繰越額が約274万円となっている。以前は、繰越額が約50万円程度で推移していた状況を顧みると、支部としての何らかの検討をお願いしたい。

3. 企画関係

事業の実績に関する報告書は、実施状況を正しく示している。

2023年度は、研究発表会(卒業論文・修士論文(オンライン発表会))、講習会(発達障害のある学生の理解と支援(オンライン発表会))、講演会(文化学園服飾博物館見学・展示解説講演)が開催され、盛会であった。オンライン開催と対面開催が行われ、それぞれの良さを考慮し、効果的に実施していくことができた。

4. 広報関係

支部ホームページ(本部で管理・更新)にはイベント案内や議事録などを掲載した。支部会員へのメールニュース(本部より配信)は、メールアドレスを登録している会員に対し見学会・講演会の案内を送信した。その他、学会誌への告知も広報に役立っている。

5. 若手の会

2023年度は、秋季企画としてオンライン講演会および茶話会2023年度 関東支部・若手の会秋季企画「災害時に活かせる家政学 住居編 家政学の視点から防災対応・迅速復旧型の市民をつくる～避難所、仮設住宅を中心に～」が実施され、とても好評であった。また、勉強会や意見交換の機会を多く設けることができ、研究分野の垣根を超えた意見交換を行うことができた。今後の運営についても若手育成の機会となるよう工夫されたい。

以上、当支部の事業及び運営は、一般社団法人日本家政学会定款もしくは一般社団法人日本家政学会関東支部規約に則り、概ね順調に行われている。

【第四号議案】 2024・2025 年度役員選出の件

1. 支部役員

〈関東支部長〉		
	堀内 かつる	横浜国立大学
〈関東支部監事〉		
1	飯田 文子	日本女子大学
2	下村 久美子	昭和女子大学
〈関東支部幹事〉		
1	赤石 記子	東京家政大学
2	雨宮 敏子	お茶の水女子大学
3	飯島 陽子	工学院大学
4	伊藤 美穂	十文字学園女子大学
5	上野 茂昭	埼玉大学
6	大田原 美保	大妻女子大学
7	大塚 有里	東京家政大学
8	奥西 智哉	農業・食品産業技術総合研究機構
9	倉田 あゆ子	日本女子大学
10	小長井 ちづる	十文字学園女子大学
11	坂井 妙子	日本女子大学
12	佐桑 あずさ	横浜国立大学
13	佐藤 瑤子	お茶の水女子大学
14	鈴野 弘子	東京農業大学
15	杉山 久仁子	横浜国立大学
16	田中 早苗	東京家政大学
17	内藤 章江	お茶の水女子大学
18	中山 節子	千葉大学
19	永田 晴子	大妻女子大学
20	濱田 仁美	東京家政大学
21	福留 奈美	東京聖栄大学
22	光永 伸一郎	上越教育大学
23	柚本 玲	文化学園大学
24	吉澤 千夏	上越教育大学
25	渡瀬 典子	東京学芸大学
〈若手の会代表幹事〉		
	高橋 美登梨	埼玉大学

2. 関東支部選出本部代議員

	氏名	所属
1	新井映子	静岡県立大学(名)
2	井元ゆえ	女子栄養大学
3	大矢勝	横浜国立大学(名)
4	小原敏郎	共立女子大学
5	小林三智子	十文字学園女子大学
6	佐藤瑤子	お茶の水女子大学
7	志村結美	山梨大学
8	下村久美子	昭和女子大学
9	田中早苗	東京家政大学
10	新實五穂	お茶の水女子大学
11	西原直枝	日本女子大学
12	花田朋美	東京家政学院大学
13	濱田仁美	東京家政大学
14	早川文代	農業・食品産業技術総合研究機構
15	福留奈美	東京聖栄大学
16	三宅紀子	東京家政学院大学
17	山口智子	新潟大学
18	渡瀬典子	東京学芸大学

【第五号議案】2024年度事業計画案の件

1. 総務関係

(1) 総会（規約第12条（1））

1.1) 通常総会

2024年4月20日（土）お茶の水女子大学 ハイフレックス開催

(2) 役員会開催（規約第12条（4））

年5回の開催を予定している。

(3) 学会賞・奨励賞・功労賞の推薦

関東支部推薦の学会賞・奨励賞・功労賞の候補者の選考を行う。

2. 財務関係

昨年度に引き続き、若手の会の予算を組み入れた予算案とした。交付金は前年度に比べ会員数は若干名増加したものの、基礎部分の減額により全体としては減額されている。活動助成金については、繰越金が増加傾向にあることを考慮し申請を行わないこととした、支部本体の管理費、事業関係費は、前年度と比較して選挙がないことによる減額、事業実施実績に則した減額など、4月の役員引継ぎ会を対面で行う分の経費を増額した以外は全体的に減額している。これは、コロナ禍でオンライン開催が増えたことによることを考慮したためである。2025年学会大会は関東での開催が決定しており、関東支部・支部役員会が関わることになっており、そのため予備費を増額している。

3. 企画関係

(1) 研究発表会（規約第4条（1））

1.1) 第27回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

2025年2月中旬、関東の大学あるいはオンラインでの開催を予定している。

(2) 講習会（規約第4条（2））

2.1) 研究・教育活動に役立つ講習会

2024年4月20日、教育講演会を開催する。会場：お茶の水女子大学ハイフレックス開催

(3) 見学会・講演会（規約第4条（2）（3））

年1回の見学会または講演会を予定している。

4. 広報関係

関東支部の活動と密接に連動させたホームページの内容になるように、積極的に記事の掲載、更新を行い、広く活動内容を広報する。メールニュースの配信回数を増やし、支部で開催する講習会、見学会等への参加人数の増加に努める。また、メールアドレス登録の呼びかけにも努める。

5. 第77回家政学会大会（2025年度）開催準備

大会開催校（横浜国立大学）実行委員と協力しながら、大会の開催に向け準備を行う。

6. 若手の会の活動

年次夏季セミナーを本部若手の会と共同開催（企画・運営）する。この企画については、防災の日にあわせて実施される。9月2日3日の2日間、講演会と見学・体験会スタイルで実施する予定である。若手の会関東支部として、本部や他支部との交流会を定期的に行い、研究をはじめとした意見交換を行う。

【第六号議案】 2024 年度収支予算案の件

2024年度 関東支部 予算案				
収入の部				
	予算	前年度予算	差異	備考
本部交付金	538,250	735,000	-196,750	交付金:538250円
本部活動助成金	0	56,000	-56,000	
事業収入	0	20,000	-20,000	
利息	400	10	390	
当期収入合計(a)	538,650	811,010	-272,360	
前期より繰入金	2,742,501	2,434,088	308,413	
収入合計(b)	3,281,151	3,245,098	36,053	
支出の部				
	予算	前年度予算	差異	備考
1. 管理費				
会議費	60,000	30,000	30,000	
旅費交通費	100,000	60,000	40,000	
通信・運搬費	10,000	30,000	-20,000	
消耗品費	10,000	30,000	-20,000	
人件費	0	20,000	-20,000	
印刷費	0	20,000	-20,000	
支払請負金	4,000	3,000	1,000	
小計	184,000	193,000	-9,000	
2. 事業費			0	
総会費	45,000	90,000	-45,000	
見学・講習会	235,000	350,000	-115,000	
研究発表会	65,000	240,000	-175,000	
研究発表要旨集関連運営費	0	40,000	-40,000	
選挙費	0	230,000	-230,000	
小計	345,000	950,000	-605,000	
3. その他			0	
予備費	50,000	10,000	40,000	
小計	50,000	10,000	40,000	
当期支出合計(c)	579,000	1,153,000	-574,000	
当期収支差額(a)-(c)	-40,350	-341,990	301,640	
次期へ繰越金(b)-(c)	2,702,151	2,092,098	610,053	

